

一般質問

～ 6月定例町議会の一般質問では、5人の議員が質問に立ちました ～

新得高校が閉校し、町立高校の議論を断念した今、



貴戸愛三議員

問 全道初の取り組みとして
高校通学費を全額補助しては

答 当面は現状どおりの制度運用
としたい

我が町の子供達は十五の春に外の町の高校に通学せざるをえない宿命を背負った事になる。これは、子育て世代に対し大きな経済負担になり、移住定住の選択に影響するのは明確である。

しかし、通学費全額補助を打出せば、全道初の取り組みであり、新得町の全ての子供達に高等教育を受けられる機会をつくり、子育て支援と移住定住への大きな材料となると考えているがいかがか。

武田教育長

町では新得高校が生徒募集を停止した平成29年度から、経済的困窮世帯を対象に、通学

費、下宿代の一部を補助する制度を実施している。高等教育に係る費用は原則、保護者負担であり、国や北海道の負担軽減策が行われていく事もあり、当面は現状の制度の運用としたい。

しかし、交通費によつて高校に通えないというようなことは避けたいなどというふうなところ考えています。

教育委員会の内部でよく検討して、関係するところと今後協議していきたいというふうな考えております。



問 西十勝地区の
医療連携の見直しを

答 三町で協議し
医療体制充実に努めたい



菊地康雄議員

かねてより民間医療機関に町民の安心を委ねている新得町において、清水赤十字病院から救急対応

補助に加えて経営支援を求められたことから、今後の展望として新たな支援のルール制定など西十勝地区の医療体制の見直しが必要になったのではないかと。

浜田町長

医療連携の実態として、町内医療介護関係者と清水赤十字病院や鹿追国保病院の院長をアドバイザーとして年二回の「地域ケア推進会議」と年一回の「地域医療介護懇話会」で連携強化に努めている他、「西十勝地域の輪」という新得・鹿追・清水三町の広域医療介護連携活動を推進している。

また、平成28年から三町の医師が中心となり「三町医療ネットワーク」を設立し地域医療の堅持・